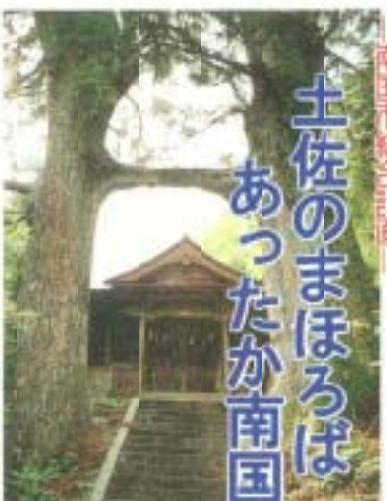


# 南国市総合体育館(仮称)基本設計完了!



土佐のまほろば  
あつたか南国市

高知市総合計画

10



## ① 南国市のシンボルとして

- \*市民に親しまれるスポーツエリアのシンボルとなる施設
- \*伝統を大切にしながら未来をイメージさせる施設
- \*気候風土などの地盤特性に配慮した施設

## ② 市民のための公共施設として

- \*開放的で明るく気軽に利用できる施設
- \*身体障害者、高齢者の人々が安心して利用できる施設
- \*市民のさまざまなスポーツ、イベント活動に対応できる施設
- \*災害時の地域の防災拠点としての機能を考慮した施設

## ③ 第57回国民体育大会施設として

- \*国民体育大会のバドミントン会場としての十分な機能をもつ施設
- \*将来にわたりバドミントン会場のメッカとなる施設

## ● 同和問題Q & A

### ④ 疑問に答えて ⑤ その二

◆同和地区の人々の生活態度に問題があるから差別されるのではないか?

私たちの日常生活の中で、同和地区の人は「集団でおしゃべりするので怖い」という意識が残っています。それに、かなり以前の「糾弾会」のイメージからきている場合が多いのです。かなり以前の糾弾会は、差別行為をした個人を徹底追及するという内容でした。しかし、学習を深めていくという方法が取られています。

そこでは、次のような人間変革が行われているのです。

### 同和教育シリーズ

(一九八五年の新聞記事より)

この人は、その後、同和地区の現地学習をして、部落の人々が差別によって、日々どんな思いで暮しているかを知り、差別の中で解放を求める続ける部落の人々の人間的な熱意、温かい人間関係などをさらに理解した、と語っています。



(昭和五十五)年になつて、地名複数を購入したことでの糾弾を受けることになった。

最初、糾弾会へ出席した時、部落民衆への予断と偏見、糾弾というもののへの曲解から、「部落の人たちは怖くて、何をされるかわからん」という先入観があり、社長以下全員が悲壮感をみなぎらせ、恐怖にかられていた。

私は、「差別はない」と言いながら差別でないから差別ではない」と言いつた。そう主張することに会社の名前を守ることになるのだと思ったからだ。

これは、自分たちはもっと責められても当然じゃないのか、自分が糾弾する側ならもつと怒るだろう、と思えるようになりました。同時に糾弾への偏見も解けた。

今後、社内研修の中心に立ち、部落出身者が入社しても、針のムシロ、意識をしないですむ職場づくりをしたい。

○高知空港ターミナルビルの整備を働きかける

○高知新港への対応

○公共交通などの整備

○高知市交通の整備

○情報・通信基盤の整備

○高知市電の整備

○高知市水道の整備

○高知市ガスの整備

○高知市電の整備

○高知市水道の整備

○高知市ガスの整備